学校番号	1205

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	論理的に読む　論読　現代文２（株式会社　浜島書店） 漢字語句ノートβ（株式会社　浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座では様々な種類の文章を読み解き、実践的な国語力の向上を主眼としています。主に現代文分野に関する基礎知識を学びながら、文章の要約や小論文の作成等の発展的な学習にも取り組んでいきます。また、漢字と言葉の一般常識についても学習します。

授業の前半はワークを使って問題を解き、後半ではその解説を行います。基本的に宿題の提出はありませんが、定期的にワークを提出してもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々な文章を読み解くことで、日本語についての知識を増やし、基礎的な国語の常識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的思考を養い、適切に自己の考えを表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な漢字の読み書きや文法事項、表現方法などを理解し適切に使用することができる。	各文章を読み解き、筆者の主張や話の筋を理解している。また「書くこと」「読むこと」の各領域において、読み取った内容を言語化することができる。	授業内で取り組んだ内容や疑問を積極的に発言することができる。また作文やテキスト内にある記述課題について指示を十分に理解して取り組み、提出することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の主張を理解する ［教材］ 『「はやぶさ」式思考法』 『こんなに面白かった！「ニッポンの伝統芸能」』 『小説の読み方』他	a：文章全体を見通し、筆者の主張を正しく理解する。 b［ 読 ］：評論文や随筆作品において文章の内容や構成、展開を適切に理解することができる。 c：読み取った内容を自らの言葉で表現することができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
	問いと答えに着目する ［教材］ 『ローマから日本が見える』 『混沌からの表現』 『あなたは誰？私はここにいる』他	a：筆者の提起した問題をおさえる。 b［ 書 ］：問いの文に着目し、問題に対して適切に自身の考えを言葉で表現することができる。 c：与えられた問いに対して文章に根拠を求めながら、自身の考えを文章化することができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
	現代国語の文法や常識について学ぶ ［教材］ 漢字語句ノートβ	a：頻出漢字について正しく理解する。 b［ 書 ］：頻出漢字について正しく使用することができる。 c：テキストを用い、頻出漢字の読み書きができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
2	文章構造を理解する ［教材］ 『「すべてを引き受ける」という思想』 『郊外の社会学』 『ひとりでは生きられないのも芸のうち』他	a：文章に用いられている表現方法や構造について正しく理解する。 b［ 読 ］：文章構造や表現の工夫について正しく理解し、内容理解につなげることができる。 c：文章構造をとらえ、主題を明らかにすることができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
	図の活用と実用的な文章 ［教材］ 『数学的思考ができる人に世界はこう見えている』	a：実用的な文章について正しく理解する。 b［ 読 ］：実用的な文章について用いられている図を読み取り、内容理解につなげることができる。 c：用いられている図の効果について理解し、意図を意識して情報を読み取ることができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
	現代国語の文法や常識について学ぶ ［教材］ 漢字語句ノートβ	a：慣用句やことわざ、四字熟語について正しく理解する。 b［ 書 ］：慣用句やことわざ、四字熟語を正しく使用することができる。 c：テキストを用い、慣用句やことわざ、四字熟語等の語彙を増やすことができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
3	論の展開をつかむ ［教材］ 『宇宙から学ぶ』 『ライフワークの思想』 『いちまいの絵』『暗幕のゲルニカ』他	a：文章の構成を理解し、筆者の主張や根拠について理解する。 b［ 読 ］：筆者の主張を読み解き、設問に正しく答えることができる。 c：筆者の主張に対しての自分の意見を文章にまとめることができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート
	描写から心情を理解する	a：：物語を味わい、登場人物の心情をつかむ。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート

	［教材］ 『下町ロケット』 『わが母の記』 『夜の空隙を埋める』他	b[書]:物語の筋を理解し、適切に問題に対して自己の言葉で表現することができる。 c:自己の意見や感想について推敲し、適切な表現で文章化することができる。			
	鑑賞の視点をとらえる ［教材］ 飯田龍太「龍太俳句入門」 夏井いつき 同書巻末	a:俳句に関する文章を読み、鑑賞について筆者の考えを理解する。 b[書]:鑑賞文を読み、筆者の作品への解釈について理解したうえで、自身の意見につなげることができる。 c:筆者の主張と自分の意見を関連付けて文章化することができる。	定期考査	定期考査 テキスト	ワーク 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　40　）時間

・読むこと　…　（　30　）時間